

第2次仁淀川清流保全計画 取組一覧

テーマ：子どもたちを川へ呼び戻す

取組項目	具体的な取組	線表	進捗状況
親子で川にふれ合う行事の充実・広報	継続：川にふれ合う行事の充実・広報 新規：「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施	有	△ ○
安全・安心で楽しい水辺活動の推進	継続：「RAC川の安全教室in仁淀川」の実施による指導者育成 継続：指導者間の連携への支援 継続：子ども水辺安全講座の実施 新規：仁淀川流域向け入門編の実施 継続：危険箇所マップによる情報提供	有	○ ○ △ △ ○
学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援	継続：学校での環境学習実施への支援 新規：水質マップによる情報発信	有	△ ○

テーマ：水文化を継承する

取組項目	具体的な取組	線表	進捗状況
流域の水文化に親しむ機会の拡大	継続：流域の水文化に親しむ機会の情報発信 新規：「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施（再掲）	有	○
地域の営みや伝統文化に根ざした暮らしの維持	-	-	-
仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用	継続：伝承の収集と情報発信 新規：「仁淀川学習」プログラム開発及び実施（再掲）	- 有	- ○

テーマ：川本来の生態系を取り戻す

取組項目	具体的な取組	線表	進捗状況
自然環境調査の実施	継続：自然環境調査の実施	有	○
生物多様性の確保に向けた取組の実施	継続：外来種対策の実施 継続：外来種拡大防止に向けた情報発信	- -	- -
水辺林の保全と適正な管理	継続：水辺林の保全と適正な管理	-	-

課題（△）及び対応
<p>△ 仁淀川親子体験教室（主催：高知県立高知青少年の家） 2024（R6）目標：10回 R2～R4 実績：0回 【課題】 令和4年度以降の実施計画なし（川以外の企画内容に変更） 【R5計画（案）】 R5上半期に「子どもたちを川へ呼び戻すWG」を開催し、親子で川にふれあう行事の主催や共催、他団体の取組への支援の可能性について検討する</p>
<p>△ 子ども水辺安全講座の実施 2024（R6）目標：実施校数7校・受講者数140名 R2～R4 実績：計3校、39名 【課題】 部会やWGメンバーから学校へ声かけをしてきたが、学校側からの希望がない 【R5計画（案）】 R5上半期に「子どもたちを川へ呼び戻すWG」を開催し、主催行事への組み込みや他団体の取組への支援の可能性について検討する</p>
<p>△ 仁淀川流域向け入門編の実施 2024（R6）目標：実施回数12回 R2～R4 実績：モニタリング・講座実施0回 【R5計画（案）】 R2にグループワークを組み込んだ子ども向け入門編資料を作成済みであり、今後、講座単体を紹介する方法ではなく、「調べ学習ハンドブック」へ項目追加する形で紹介し、活用を図る</p>
<p>△ 学校での環境学習実施への支援 2024（R6）目標：水生生物調査・水質調査 実施校数各21校 R2～R4 実績：水生生物調査 各年7～11校、水質調査 各年7～12校 【R5計画（案）】 市町村教委等へ「調べ学習ハンドブック」を紹介し、流域の小中学校等における実施の可能性を探り、個々の学校にアプローチしていく 水生生物調査、水質調査、その他環境学習等にかかる資料を徐々に揃え、紹介・貸し出しを行っていく</p>

R5.6月作成

テーマ：美しい景観を保全する

取組項目	具体的な取組	線表	進捗状況
「仁淀川・環境の日」の啓発・一斉清掃への参加呼びかけ	継続： 仁淀川一斉清掃の実施 新規：「清掃活動 +α」の検討及び実施	有	○
河川利用者のマナー向上に向けた取組の実施	新規： 事業者との連携による啓発の実施 新規： 河川ごみマップ等による情報発信	有	○
上下流の連携	新規：「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施（再掲） 新規： 水質マップによる情報発信（再掲） 継続： 河川ごみマップ等による情報発信（再掲）	有	○
環境先進企業、関係団体との協働による仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進	継続： 流域の団体が実施している環境保全活動の普及促進	-	-
	継続：「協働の川づくりパートナーズ協定」による取組	有	○
	継続： 仁淀川の清流保全に関する寄付事業	-	-

テーマ：豊かな水量を確保・維持する

取組項目	具体的な取組	線表	進捗状況
健全な森づくりによる山の保水力の回復	継続： 間伐の実施	-	-
	継続： 針広混交林の拡大（落葉広葉樹の植林）	-	-
森林組合や民間林業事業体に加え、自伐小規模林業者や森林保全ボランティアを活用した森林整備	継続： 自伐林家等の林業機械レンタル支援	-	-
	継続： 森林保全ボランティア等の育成	-	-
	継続： 森林保全ボランティアの協力による森林整備の推進	-	-
地球温暖化対策に着目した森林整備	継続：「協働の森づくり事業」を活用した森林整備の推進	-	-
	継続： 木質バイオマスの利用拡大	-	-

テーマ：排水・汚水処理対策を進める

取組項目	具体的な取組	線表	進捗状況
生活排水対策	継続： 生活排水対策の実施	-	-
地域における環境保全対策	新規： 家庭での環境保全対策についての情報発信 新規：「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施（再掲）	有	○
事業系排水対策	継続： 事業者と行政機関が連携した浄化施設の整備	-	-
水質測定の測定結果と経年変化の分析	継続： 水質測定結果と経年変化の確認及び水質改善策の検討	-	-
	継続： 水質測定結果についての情報発信	-	-

「第2次仁淀川清流保全計画」における事業の具体的な実施状況

R5.6月作成

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目的	仁淀川にふれ合う行事を充実させるとともに広報活動を実施することによって、親子で参加できる行事へ数多くの参加を促す。
取組項目	親子で川にふれ合う行事の充実・広報		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 川にふれ合う行事の充実・広報 仁淀川にふれ合う行事を実施するとともに、参加しやすくなるよう情報発信を行う。 また、媒体の活用方法について整理し、流域で川にふれ合う行事を行っている団体等へ提供することによって情報発信しやすくなるよう支援する。	親子体験教室※: 7回 Facebook等での情報発信	計画	媒体活用方法の整理 → 提供	行事の実施及びホームページFacebook等を活用した情報発信				親子体験教室: 10回 Facebook等での情報発信
		実績	親子体験教室: 0回 媒体活用方法の提供の実施	親子体験教室: 0回 Facebook等での情報発信: 15回	親子体験教室: 0回 Facebook等での情報発信: 27回			
2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施 水生生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会つくりにつなげる。	新規	計画	検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	プログラム数: 10個 実施回数: 10回
		実績	プログラム数: 2個 実施: 2回	プログラム数: 1個 実施: 0回(中止)	プログラム数: 1個 実施: 1回			

1 川にふれ合う行事の充実・広報

- ・仁淀川親子体験教室（主催：高知県立高知青少年の家） R2～R4 実績：0回
 - 【課題】 当事業主催者として令和4年度以降の実施計画なし（川以外の企画内容に変更している）
 - 【R5計画（案）】
 - R5上半期に「子どもたちを川へ呼び戻すWG」を開催し、親子で川にふれあう行事の主催や共催、他団体の取組への支援の可能性について検討する

2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施

- ・川と人、社会、文化の関わり講座 R2～R4 実績：計3回
 - 【R5計画（案）】
 - 開催時期：令和5年12月～1月を想定 R5上半期に「子どもたちを川へ呼び戻すWG」を開催し、具体内容を検討する

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目的	川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材の育成及び育成した人材の指導による子どもを対象とした安全教室、環境学習等が実施できる体制を整える。また、危険箇所マップ等の情報発信により、川での事故防止につなげる。
取組項目	安全・安心で楽しい水辺活動の推進		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))	計画スケジュール					目標 (2024(R6))	
		2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年		
1 「RAC川の安全教室in仁淀川」の実施による指導者育成 川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材を育成する。 ※ リーダー資格取得に必要な講座:アシスタントリーダー講座、リーダー講座、川という自然の理解講座、川と人、社会、文化の関わり講座	アシスタントリーダー講座:1回、リーダー講座:1回、川という自然の理解講座:1回、川と人、社会、文化の関わり講座:1回 リーダー:6名	計画	リーダー講座(1回)、川という自然の理解講座(1回)、川と人、社会、文化の関わり講座(1回)	アシスタントリーダー講座(1回)、川という自然の理解講座(1回)、川と人、社会、文化の関わり講座(1回)	リーダー講座(1回)、川と人、社会、文化の関わり講座(1回)	インストラクター養成講座(1回)、川と人、社会、文化の関わり講座(1回)	アシスタントリーダー講座(1回)、リーダー講座(1回)、川という自然の理解講座(1回)、川と人、社会、文化の関わり講座(1回)	アシスタントリーダー講座:2回、リーダー講座:2回、川という自然の理解講座:3回、川と人、社会、文化の関わり講座:5回 インストラクター:2名、リーダー:9名
		実績	指導者養成講座:1回 川という自然の理解講座:1回 川と人、社会、文化の関わり講座:1回 リーダー数:3名	アシスタントリーダー講座:1回 川という自然の理解講座:1回 川と人、社会、文化の関わり講座:1回(中止) リーダー数:4名	リーダー講座:中止 川と人、社会、文化の関わり講座:1回 リーダー数:0名			

1 「RAC川の安全教室in仁淀川」の実施による指導者育成 R2～R4 実績:講座合計6回、リーダー数計7名

→ 【R5計画(案)】

(1) リーダー講座

開催時期:令和5年7月25日(火)・26日(水) ※降水量3ミリ未満の場合決行、予備日:8月23日(水)・24日(木)

開催場所:いの町立伊野公民館(座学)、いの町波川(実技)

講師:谷 光承(RACトレーナー) ※講師補助としてRACリーダーが参加予定

(2)川という自然の理解講座

開催時期:令和5年9月頃 ※降水量3ミリ未満の場合決行、予備日も設定する

開催場所:いの町波川公園 右岸側(実技・座学)

講師:石川 妙子 ※講師補助としてRACリーダーが参加予定

(3)川と人、社会、文化の関わり講座(再掲)

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目的	川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材の育成及び育成した人材の指導による子どもを対象とした安全教室、環境学習等が実施できる体制を整える。また、危険箇所マップ等の情報発信により、川での事故防止につなげる。
取組項目	安全・安心で楽しい水辺活動の推進		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
2 指導者間の連携への支援 Facebookグループを活用し、育成した指導者間の情報交換が促進できるよう支援する。	Facebookグループの立ち上げ及び運用	計画	指導者間の情報交換への支援					-
		実績	Facebookグループの運用					
3 子ども水辺安全講座の実施 川の楽しさを体験するとともに、川のどこが危険なのかを知り、自分の身を守る知識や方法を体験を通じて学習することを目的とした座学、実技を実施する。	実施校数：1校 受講した子どもの数：22名	計画	1校	1校	1校	2校	2校	実施校数：7校 受講者数：140名
		実績	2校(開催支援：1校、RACリーダーによる実施：1校)	1校(開催支援校)	0校			
4 仁淀川流域向け入門編の実施 川での安全対策の必要性や危険なポイント、事前準備など川の安全に関する基礎知識を学べる入門編(座学)を作成、実施する。	新規	計画	案作成及びモニタリングの実施	講座の実施(2回)	講座の実施(2回)	講座の実施(4回)	講座の実施(4回)	実施回数：12回
		実績	案作成 モニタリング：0回	モニタリング：0回	モニタリング：0回			
5 危険箇所マップによる情報提供 仁淀川の危険箇所の表示(サイン)や危険箇所マップ等作成・配布といった情報発信を行い、仁淀川での事故防止につなげる。	仁淀川危険箇所マップ(HP)の公開及びミニマップの配布	計画	危険箇所マップ等の情報発信					-
		実績	危険箇所マップ等の情報発信					

3 子ども水辺安全講座の実施 R2～R4 実績：計3校、19名以上

→ 【課題】 部会やWGメンバーから学校へ声掛けをしてきたが、学校側からの希望がない

→ 【R5計画(案)】

R5上半期に「子どもたちを川へ呼び戻すWG」を開催し、WGメンバー主催の行事への組み込みや他団体の取組への支援の可能性について検討する

4 仁淀川流域向け入門編の実施 R2～R4 実績：R2に入門編の案(=講座用資料)1本作成、モニタリング・講座実施0回

→ 【R5計画(案)】

グループワークを組み込んだ子ども向けの入門編資料を、今後は「調べ学習ハンドブック」へ項目追加する形で紹介し活用を図る

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目的	流域内の学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援を行い、学校での取組を増やすことによって、子どもたちの川への関心を高める。
取組項目	学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))	計画スケジュール					目標 (2024(R6))
		2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 学校での環境学習実施への支援 仁淀川について学べる講座及び講師の情報収集を行い、「調べ学習ハンドブック」を作成し、流域の学校へ提供するとともに実施への支援を行う。また、環境学習実施結果の情報発信を行うことによって、流域全体での実施につなげる。	実施校数 水生生物調査:11校(H30) 水質調査:5校(H30)	計画	講座及び講師の情報収集	「調べ学習ハンドブック」の作成	学校への提供		
		実績	講座及び講師の情報収集方法検討	講座及び講師の情報収集	「調べ学習ハンドブック」の作成	学校への提供	
		水生生物調査:7校 水質調査:7校	水生生物調査:11校 水質調査:12校	水生生物調査:11校 水質調査:8校			
						実施校数 水生生物調査:21校(R6) 水質調査:21校(R6)	

1 学校での環境学習実施への支援

R2～R4 実績：水生生物調査 各年7～11校、水質調査 各年7～12校

R3年度の調査票をもとに「調べ学習ハンドブック」を作成し、R5.3月に仁淀川流域の小中学校へ配布

→ 【R5計画（案）】

- ・協議会から出た意見等をハンドブックの更新に反映させる（フロー図の追加、講座の追加等）（随時）
- ・市町村教委へハンドブックを紹介し、流域の小中学校における実施の可能性を探り、個々の学校にアプローチしていく（7月～11月）
- ・水生生物調査、水質調査、その他環境学習等にかかる資材を徐々に揃えて、学校への紹介、貸出し等を行っていく

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目的	流域内の学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援を行い、学校での取組を増やすことによって、子どもたちの川への関心を高める。
取組項目	学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール				目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	
2 水質マップによる情報発信 仁淀川流域で実施している水質調査結果を収集して地図化し、実施者や学校に提供を行うとともに情報発信を行う。	新規	計画	水質調査実施状況の把握及び地図化に向けた検討		データ収集、地図化及び情報発信		水質調査実施校数:21校(R6)
		実績	水質調査実施状況の把握及び地図化に向けた検討		データ収集、地図化 情報発信		
		水質調査:7校	水質調査:12校	水質調査:8校			

2 水質マップによる情報発信 R2～R4 実績：水質調査 各年7～12校、水質マップ R3結果HP掲載済・R4結果HP掲載予定

身近な水環境の全国一斉調査に参加している仁淀川流域の団体及び水質調査を実施している仁淀川流域の学校への調査の実施

→ 【R5計画（案）】

- ・水生生物調査、水質調査、その他環境学習等にかかる資材を徐々に揃えて、学校への紹介、貸出し等を行っていく
- ・次年度の全国一斉調査実施の情報が入り次第、メンバー間で共有し、関係機関・学校等へ紹介していく

テーマ	水文化を継承する	目的	水を上手に使ってきた先人の知恵や流域固有の特徴ある水文化を流域全体で共有しながら次世代へ引き継ぎ伝えていくことを目的として、水文化に親しむ機会の拡大を図る。
取組項目	流域の水文化に親しむ機会の拡大		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 流域の水文化に親しむ機会の情報発信 仁淀川にふれ合う行事を実施するとともに、参加しやすくなるよう情報発信を行う。	継続	計画	行事の実施及びホームページFacebook等を活用した情報発信					-
		実績	Facebook 投稿回数13回	Facebook 投稿回数15回	Facebook 投稿回数27回			
2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲) 水生生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会づくりにつなげる。	新規	計画	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	プログラム数:10個(うち水文化の継承:5個) 実施回数:10回(うち水文化の継承:5個)
		実績	プログラム数:2個 実施:2回	プログラム数:1個 実施:0回(中止)	プログラム数:1個 実施:1回			

- 1 流域の水文化に親しむ機会の情報発信 (再掲)
- 2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施 (再掲)

テーマ	水文化を継承する	目的	水を上手に使ってきた先人の知恵や流域固有の特徴ある水文化を流域全体で共有しながら次世代へ引き継ぎ伝えていくことができるように、仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用に取り組む。
取組項目	仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 「仁淀川学習」プログラム開発及び実施(再掲) 水生生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会づくりにつなげる。	新規	計画	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	プログラム数:10個(うち水文化の継承:5個) 実施回数:10回(うち水文化の継承:5個)
		実績	プログラム数:2個 実施:2回	プログラム数:1個 実施:0回(中止)	プログラム数:1個 実施:1回			

テーマ	川本来の生態系を取り戻す	目的	流域での水生生物や水生植物の生息調査の実施により、仁淀川流域の生物多様性について考えるきっかけづくりにつなげる。
取組項目	自然環境調査の実施		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 自然環境調査の実施 河川やその周辺に生息・生育する生物の現状を把握するために自然環境調査を実施し、必要に応じて保護・保全を行う。	継続	計画	既存調査内容の把握及び実施に向けた検討	→	調査実施	→	→	調査実施回数:2回
		実績	仁淀川のいきもの調査2021 実施に向けた検討	→	仁淀川のいきもの調査2021 実施	→	結果の広報	
					仁淀川のいきもの調査2022 実施	→	結果の広報	

1 自然環境調査の実施 R2～R4 実績：カジカガエルの鳴き声調査 R3、R4実施、観察会1回

→ 【R5計画(案)】

- ・「カジカガエルの鳴き声調査2023」の開催周知(全体、個別)、参加(流域住民・学校等)、見える化(地図におとす)、結果広報
- ・観察会「カジカガエルを探そう！」の開催

開催時期：令和5年7月1日(土)19時～ ※降水量3ミリ未満の場合決行、予備日：7月8日(土)

開催場所：越知町宮の前公園

講師：谷地森 秀二(横倉山自然の森博物館)

テーマ	美しい景観を保全する	目的	流域全体での一斉清掃等の実施により清流保全活動に参加する機会づくりにつなげるとともに、仁淀川の現状について考えるきっかけづくりにつなげる。
取組項目	「仁淀川・環境の日」の啓発・一斉清掃への参加呼びかけ		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 仁淀川一斉清掃の実施 「仁淀川・環境の日」(10月24日)の前後の土曜日に、住民や環境先進企業、関係団体等が協働で一斉清掃を実施する。	4回(年1回実施) のべ参加者数:1,515人	計画	一斉清掃の実施(年1回) 					のべ参加者数:2,000人
		実績	10/24 参加者数:256人	10/23 参加者数:369人	10/22 参加者数:385人			
2 「清掃活動+α」の検討及び実施 ごみ拾いに楽しさや学びをプラスすることによって参加を促すとともに、仁淀川の環境保全への関心を高める。	新規	計画	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	のべ参加者数:200人 環境への関心が高まったと回答した割合 (アンケート調査): 80%以上
		実績	0回	1回	1回			

1 仁淀川一斉清掃の実施 R2～R4 実績：のべ参加者数 1,010人

→ 【R5計画(案)】

・令和5年10月14日(土) 5地域：8時から1時間程度、1地域：7時から1時間程度 ※降水量3ミリ未満の場合決行

2 「清掃活動+α」の検討及び実施 R2～R4 実績：計2回

→ 【R5計画(案)】

・市町村教委へ「調べ学習ハンドブック」(ごみについての座学・現地学習の講座あり)を紹介し、流域の小中学校における実施の可能性を探り、個々の学校にアプローチしていく(7月～11月)

テーマ	美しい景観を保全する	目的	仁淀川のごみの状況について正しく把握するとともに河川利用者のマナー向上につなげる。
取組項目	河川利用者のマナー向上に向けた取組の実施		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 事業者との連携による啓発の実施 河川利用者との接点を持つ事業者※と連携した、河川利用者に対する啓発を実施することによってマナー向上につなげる。 ※例:観光客＝観光事業者	新規	計画	事業者との協議 → 啓発案作成		連携した啓発の実施			-
		実績	観光事業者との協議:1回 → 啓発案検討	連携した啓発の実施				
2 河川ごみマップ等による情報発信 仁淀川流域で回収されたごみの種類や量を地図化し、上流から下流への変化や本川と支川の違いを見える化する。また、不法投棄されたごみの量や種類、場所などの情報を収集するための仕組みづくりを行う。	新規	計画	清掃活動実施状況の把握及び地図化に向けた検討		データ収集、地図化及び情報発信			ごみマップによる情報発信回数:1回
		実績	清掃活動実施状況の把握(おもてなしの水辺創成事業)方法協議	調査項目検討 → 清掃実績調査	地図作成	情報発信		

1 事業者との連携による啓発の実施 R2～R4 実績：R3から「仁淀川スタイル」発信

→ 【R5計画(案)】

- ・「仁淀川スタイル」発信の継続

令和5年は7月よりスタートし、週に1度、10月の仁淀川一斉清掃の周知がはじまるまで実施する予定

協力事業者：仁淀ブルー観光協議会、いの町観光協会、仁淀川町観光ポータルサイト

- ・その他 NPO仁淀川お宝探偵団主催「カヌーでGO!SUPでGO!」 令和5年5月3日(水・祝)開催済

2 河川ごみマップ等による情報発信 R2～R4 実績：河川ごみマップ R3結果HP掲載済・R4結果HP掲載予定

→ 【R5計画(案)】

- ・これまでの取組を継続

調査票配布団体：仁淀川清流保全推進協議会の委員及び部会員、仁淀川一斉清掃参加団体の一部、おもてなしの水辺創成事業活用団体等

テーマ	美しい景観を保全する	目的	愛媛県も含めた上流と下流とが繋がっていることを意識できる機会を提供することによって、流域全体で連携した清流保全活動の推進につなげる。
取組項目	上下流の連携		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲) 仁淀川をテーマにしたプログラムを作成し、楽しみながら学べる機会づくりにつなげる。	新規	計画	検討及び実施 (1回)	検討及び実施 (1回)	検討及び実施 (1回)	検討及び実施 (1回)	検討及び実施 (1回)	プログラム数:5個 実施回数:5回
		実績	プログラム数:2個 実施:2回	プログラム数:1個 実施:0回(中止)	プログラム数:1個 実施:1回			
2 水質マップによる情報発信(再掲) 仁淀川流域で実施している水質調査結果を収集して地図化し、実施者や学校に提供を行うとともに情報発信を行う。	新規	計画	水質調査実施状況の把握及び地図化に向けた検討		データ収集、地図化及び情報発信			水質調査実施校数:21校
		実績	水質調査実施状況の把握及び地図化に向けた検討		データ収集 地図化	情報発信		
		水質調査:7校	水質調査:12校	水質調査:8校				
3 河川ごみマップ等による情報発信(再掲) 仁淀川流域で回収されたごみの種類や量を地図化し、上流から下流への変化や本川と支川の違いが見える化する。また、不法投棄されたごみの量や種類、場所などの情報を収集するための仕組みづくりを行う。	新規	計画	清掃活動実施状況の把握及び地図化に向けた検討		データ収集、地図化及び情報発信			ごみマップによる情報発信回数:1回
		実績	清掃活動実施状況の把握(おもてなしの水辺創成事業)方法協議	調査項目 検討	清掃実績 調査	地図 作成	情報 発信	

テーマ	美しい景観を保全する	目的	流域の団体や企業等と連携した水辺の環境保全活動を実施することによって仁淀川の景観を保全する。
取組項目	環境先進企業、関係団体との協働による仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 「協働の川づくりパートナーズ協定」による取組 川の環境保全活動に関心のある企業と清流保全活動に取り組んでいるNPO等、流域市町村、県とで「協働の川づくりパートナーズ協定」を締結し、一斉清掃や間伐、子どもたちを対象とした環境学習などの取組を協働で推進する。	仁淀川を対象とした協定締結数:2	計画	環境先進企業への提案の実施及び協定を締結した企業の参画による環境保全活動の推進 					仁淀川を対象とした協定締結数:3
		実績	協定締結数:3 新規:1 継続:2	協定締結数:3 継続:3	協定締結数:3 継続:3			

1 「協働の川づくりパートナーズ協定」 寄付金を活用した取組

- ・株式会社サンブラザ R2～R4 実績：ごみ勉強会及び観察会「カジカガエル」開催に係る謝金、旅費等の支援 等
→ 【R5事業にかかる企業様の意向】
これまでの取組を継続
- ・アサヒビール株式会社 R2～R4 実績：川の安全教室及び仁淀川一斉清掃開催に係る支援
→ 【R5事業にかかる企業様の意向】
これまでの取組を継続
- ・有限会社高知アイス R2～R4 実績：子どもたちを対象とした環境学習開催に係る経費の支援
→ 【R5事業にかかる企業様の意向】
これまでの取組を継続

テーマ	排水・汚水処理対策を進める	目的	家庭で出来る具体的な生活排水対策の広報や、地域における環境保全対策について学べるプログラムの開発及び実施により、河川環境について考えるきっかけづくりにつなげる。
取組項目	地域における環境保全対策		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 家庭での環境保全対策についての情報発信 生活排水対策に自主的に取り組む環境づくりのため、家庭でできる具体的な取組方法等の広報を実施する。	継続	計画	家庭での環境保全対策についての情報発信 					—
		実績	実施した市町村数: 6 広報等周知回数: 16	実施した市町村数: 7 広報等周知回数: 17	実施した市町村数: 7 広報等周知回数: 25			
2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲) 水生生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会づくりにつなげる。	新規	計画	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	プログラム数: 10個(うち地域における環境保全対策: 1個) 実施回数: 10回(うち地域における環境保全対策: 1個)
		実績	プログラム数: 2個 実施: 2回	プログラム数: 1個 実施: 0回(中止)	プログラム数: 1個 実施: 1回			

1 家庭での環境保全対策についての情報発信 R2～R4 実績: 各年6～7市町村、広報回数16～25回

→ 【R5計画(案)】

- ・家庭でできる生活排水対策の広報実施を継続